

名東区民のスポーツ・健康に関する意識調査 報告書

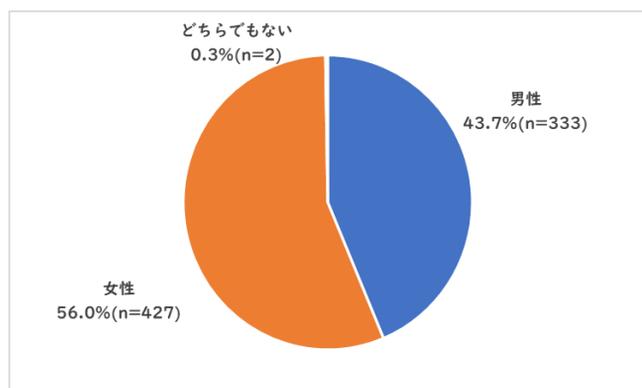
名東区民のスポーツ・健康に関する現状と意欲

名東区民のスポーツ・健康に関する意識調査の概要

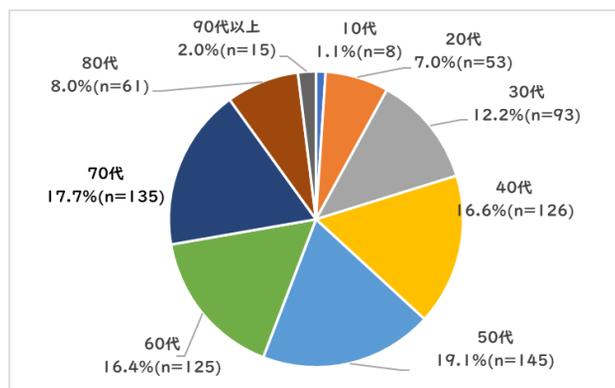
区民のスポーツ・健康に関する現状や動向を把握するため、スポーツ・健康に関する意識調査を以下の方法により実施した。特に本調査では、どのようなスポーツをいかに楽しみたいのか、それを実現するにはどのようなサポートが必要なのかという、様々なスポーツ参画に関する具体的な区民のニーズを明らかにすることに着目した。

- 1 母集団 名東区在住の18歳以上人口
- 2 抽出方法 男女年齢別の人口構成率に基づき、住民基本台帳から性別・年齢別に均等割付抽出を行い、成人人口からなる調査対象者リストを作成した(4,000ケース)。
- 3 調査方法 調査票の郵送による配布・回収方式で、自計法とした。
- 4 調査期間 2023年10月16日から12月28日を調査期間とした。
- 5 回収状況 ① 有効回答数 771 ※回収数:790(回収率:19.8%)
- 6 調査項目 ① スポーツ活動実施の現状レベル
② スポーツ種目ニーズ指標(各スポーツ種目実施率と実施意欲)
③ スポーツ条件ニーズ指標(希望スポーツ種目実施の条件内容)
④ スポーツ環境・情報ニーズ指標(スポーツ環境と情報に対する評価と利用ニーズ)

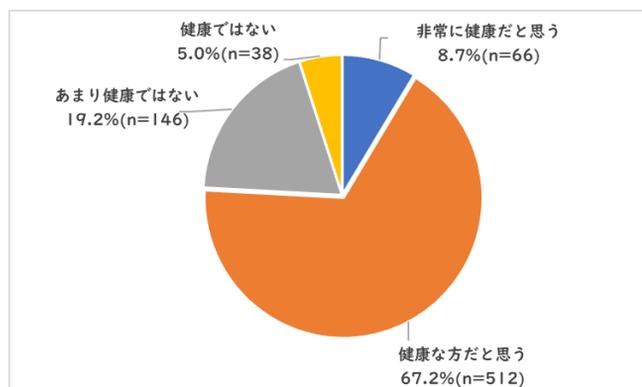
調査対象者の属性



性別



年齢構成



健康状態

名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

【1】スポーツ活動実施率（頻度レベル）

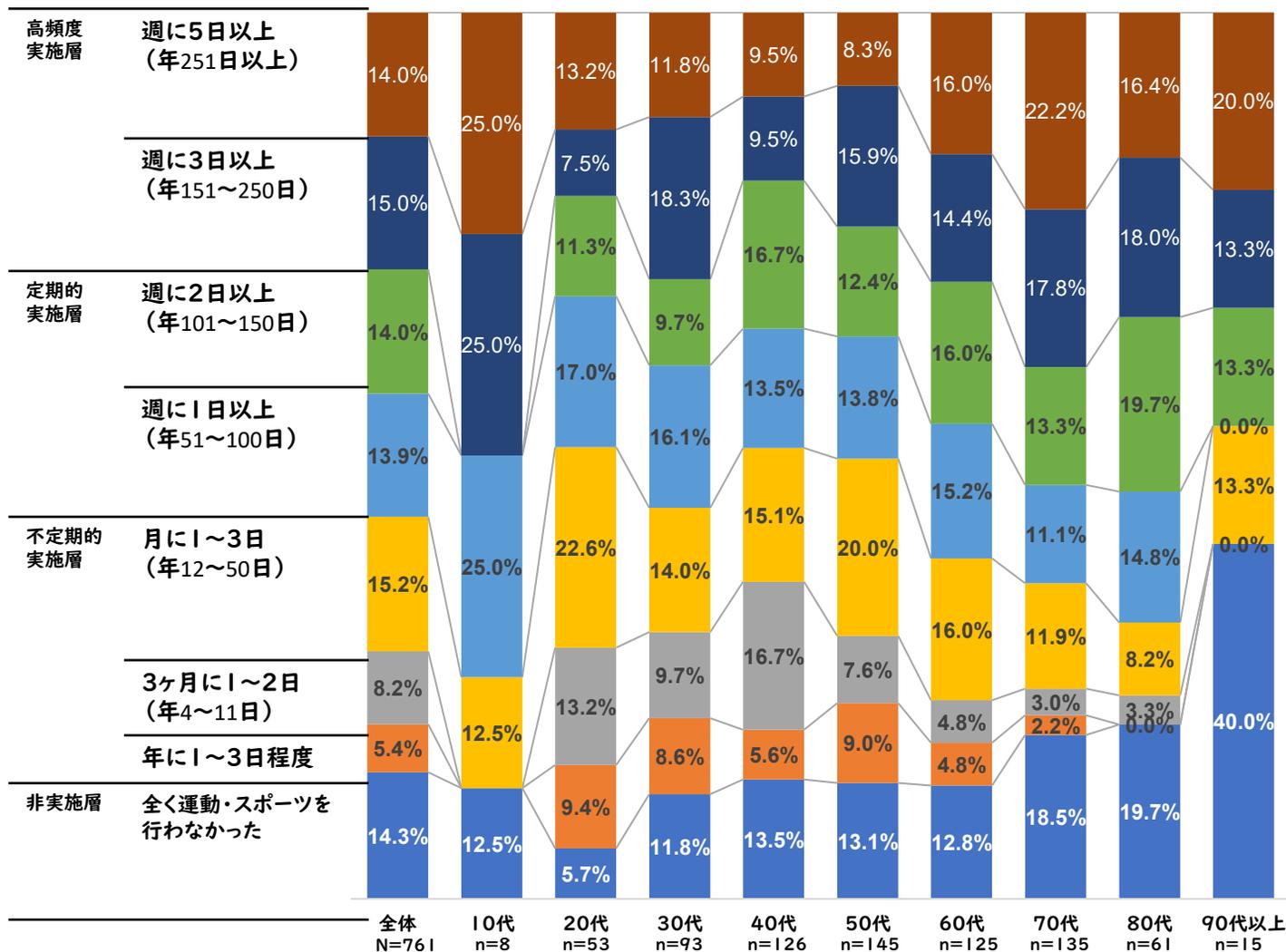
スポーツ参画人口の「する」スポーツの重要な指標となるスポーツ活動実施率について、過去1年間の実施頻度レベルを求め、図1に示す名東区民の全体人口および各世代別の割合を算出した。全体人口では、週1日以上の実施率は56.9%であり、名古屋市全体の53.3%（2022年度）に比べ少し高い値となった。

※第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）および第3期名古屋市スポーツ推進計画の目標値は70%

年代別にみると40代が定期的以上の頻度の実施者が最も低く（37.2%）、年代を経ることに増加し、80代が最も高い値（70.9%）であった。

【図1】過去1年間のスポーツ実施率（全体）

<質問文>あなたはこの1年間の運動・スポーツ実施日数を全部合わせると、何日ぐらいになりますか。
※学校の体育の授業や職業として行ったものは除く



名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状と意欲

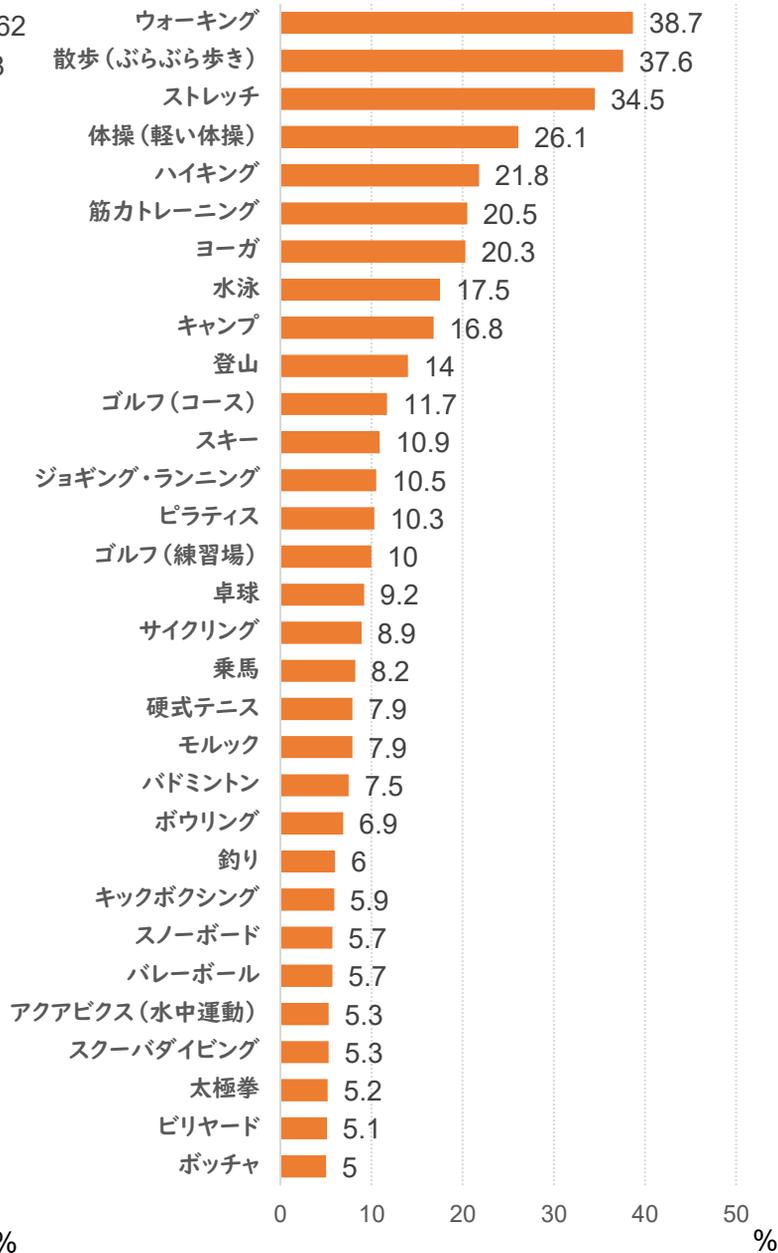
【2】 運動・スポーツ種目実施率・実施希望率

この1年間に実施した運動やスポーツについてそれらの種目を質問した結果、合計して80種目が挙げられた。回答された種目ごとの割合では(図2-1)、散歩・ウォーキングを筆頭に、ストレッチ、体操、筋力トレーニングが名東区において現在実施されている上位5種目となり、今後の希望(図2-2)ではウォーキング・散歩を筆頭にストレッチ、体操、ハイキングが上位5種目となった。

【図2-1】過去1年間のスポーツ種目実施率



【図2-2】今後のスポーツ種目実施希望率



<質問文>

あなたは、過去1年間、どのような種目を行いましたか。
(いくつでも○)
※ただし、学校の体育の授業として実施したものや職業として実施したものは除きます【複数回答】

<質問文>

今後、行ってみたい種目はありますか。(いくつでも○)
※ただし、学校の体育の授業として実施したものや職業として実施したものは除きます【複数回答】

名東区民のスポーツ・健康活動参画の意欲

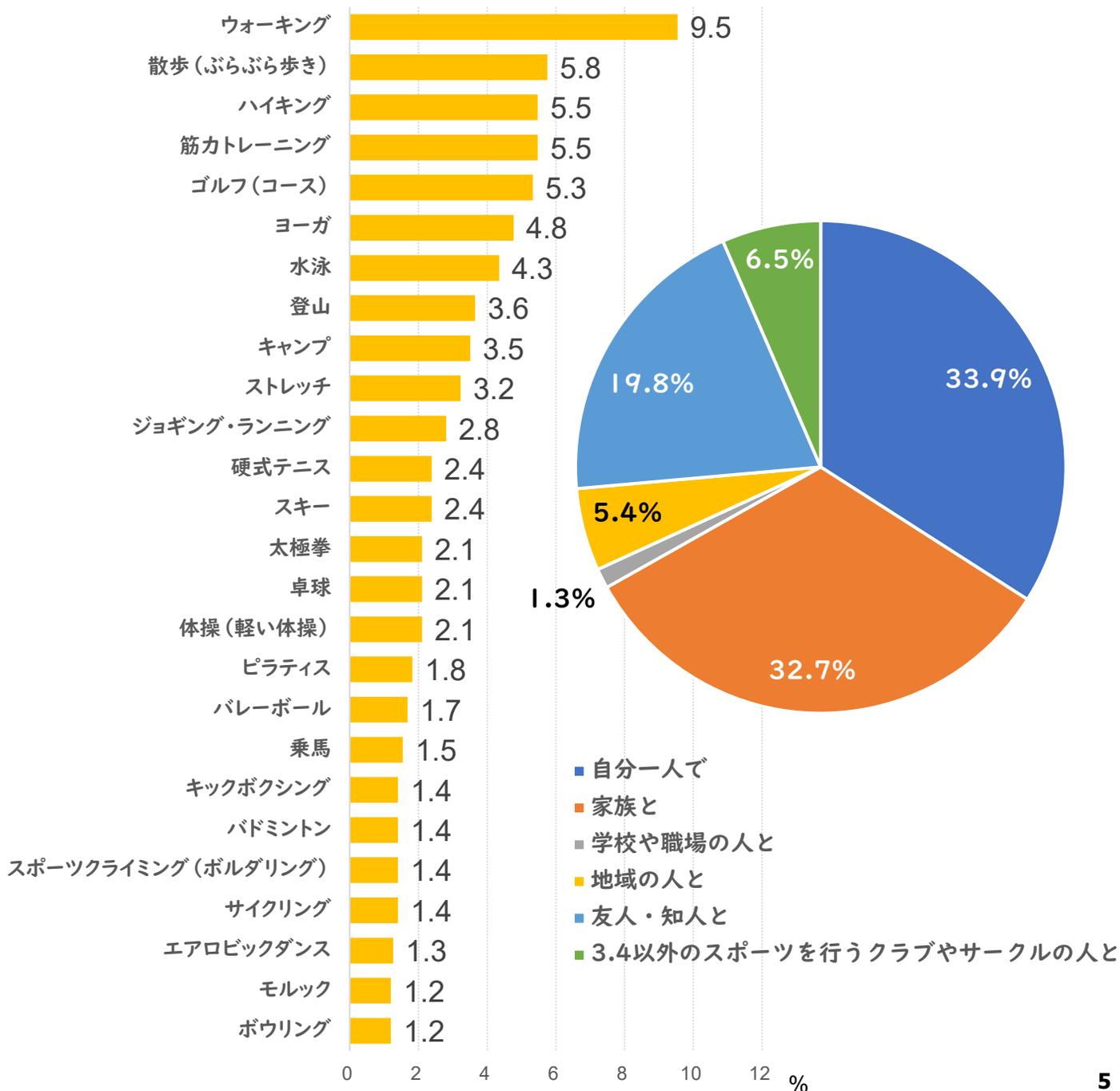
【3】 区民の運動・スポーツ実施意欲

今後行ってみたいスポーツ種目の中で最も強く実施を希望する種目について回答を求めた結果、ウォーキングが1位、散歩が2位、ハイキング・筋力トレーニングが3位の順となった。また、誰と実施したいかについての希望は、“自分一人で”と“家族と”が3割を超える結果となった。分析の結果、74種目に及ぶスポーツ種目が挙げられ、特に「モルック」については他の地域と比較しても高い値をとっていた。市民の種目に関するスポーツ実施ニーズは多岐にわたり、スポーツイベントの開発や情報の発信にあたっては、これらの種目を念頭に置きながら計画を行っていくことが重要であると示唆できる。

【図3】 今後最も実施したい種目と実施したい相手

<質問文>

今後実施してみたい種目のうち、最も実施したい種目を1～95のうち、○をつけた番号から1つだけ選んでください。

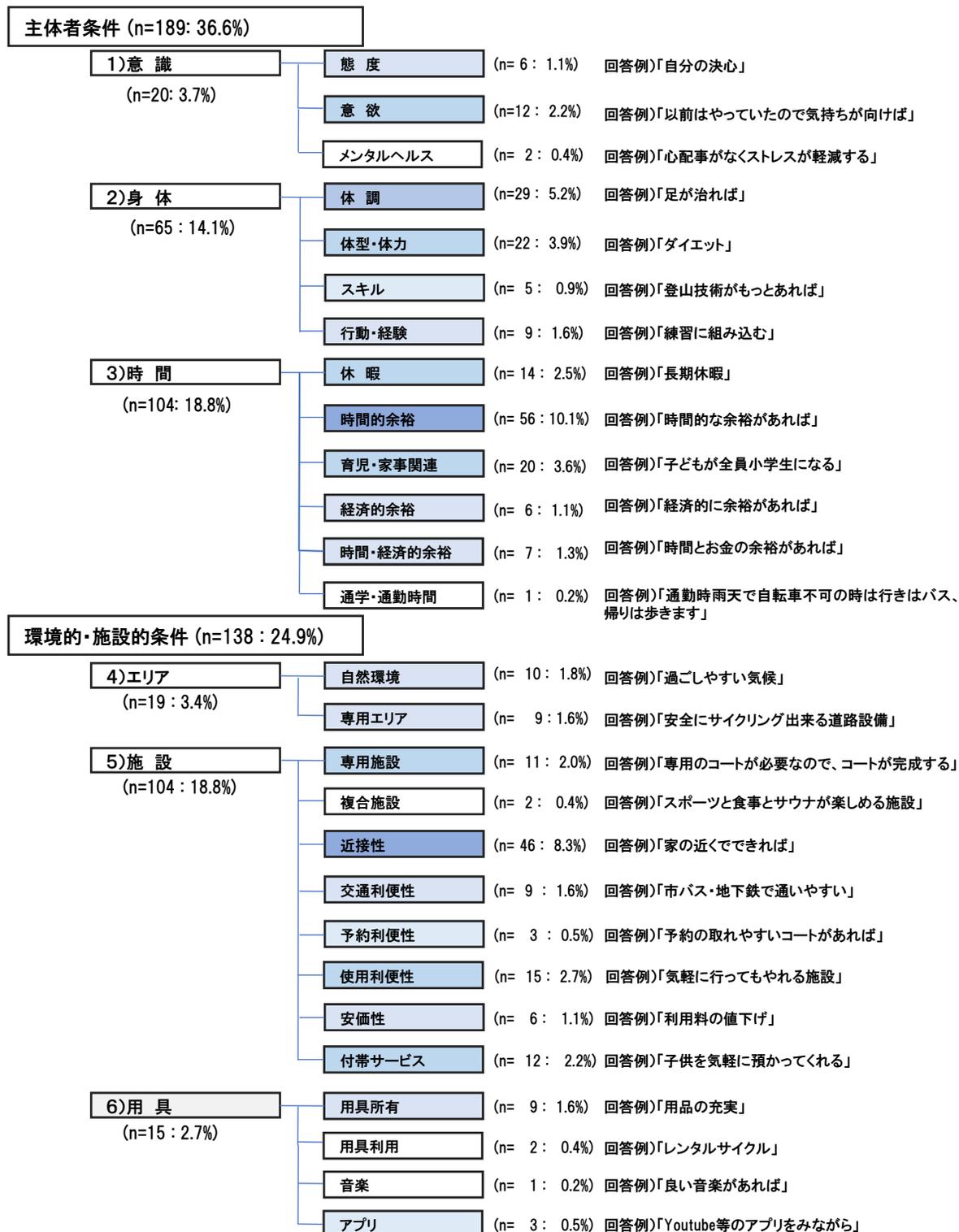


名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

【4】 区民の最も実施を希望する運動・スポーツ種目の実現要因

最も実施してみたいスポーツ種目に対し、どのようなきっかけがあれば実施できるかを自由回答で求め、567ケースから得られた記述データを集約した。この結果、実施のための実現要因として、1) 主体者自身の資源(意識や身体・時間的條件)を筆頭に、2) エリア、施設、用具サービス等の環境的・施設の條件(モノ)、3) プログラム、イベント、情報等の機会的・経験的條件(コト)、4) 仲間、指導者、組織等の人的・組織的條件(ヒト)に対する内容が抽出された。

【図4-1】最も実施を希望する種目の実施条件に関する自由回答(1)

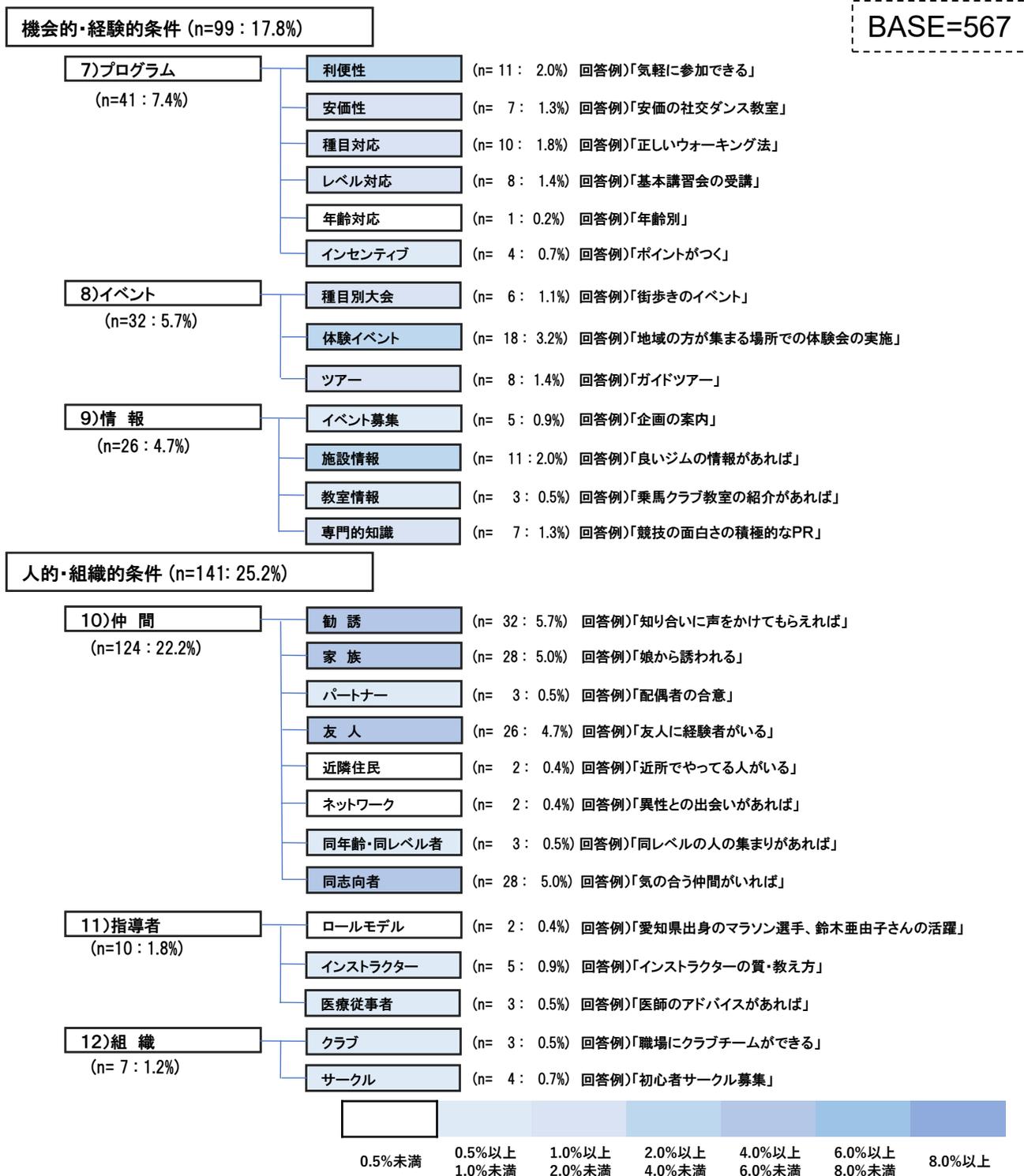


名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

【4】 区民の最も実施を希望する運動・スポーツ種目の実現要因

図4-1.2には、これら4つの側面から各3つずつに分類される計12個のカテゴリーと、さらに53個の項目に細分化された結果を表しており、各項目に関係する回答の頻出度(%)と内容例を示している。自由回答で頻出の高い重要な要因として「時間的余裕」、「近接性(施設)」、「勧誘」、「体調」、「家族」、「同志向者」がいずれも5%以上を示し、名東区において区民が希望するスポーツ種目を実現していくために重要な要因・条件のキーワードであることが示唆される。

【図4-2】最も実施を希望する種目の実施条件に関する自由回答(2)



名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

【5】 区民の運動・スポーツ種目のスポーツ実施キャリア

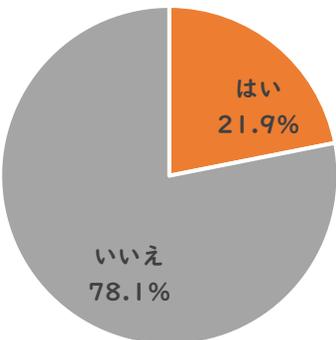
運動・スポーツ種目の実施経験から、新しい種目を始める（開始率）、以前行っていた種目を再び実施する（再開率）、これまでの実施種目を継続する（継続率）、これまで実施していた種目を止める（中止率）のスポーツ実施キャリアの視点から分析した。その結果、開始率は21.9%、再開率は11.1%、継続率は52.0%、中止率は14.0%となり、100人に約20人が新しい種目をこの1年で始め、約11人が以前の実施種目を再び始め、約52人が種目を継続した一方で、約14人が種目実施を中止したことが分かる。

【図5】スポーツ実施キャリア（開始・再開・継続・中止）の上位15種目

<質問文>過去1年間で、以下に挙げる運動・スポーツに関する経験の有無についてお答えください。

開始

これまでに実施したことがなかった種目を、この1年の間に新しく始めた。



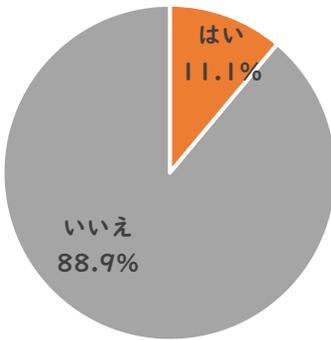
BASE=771



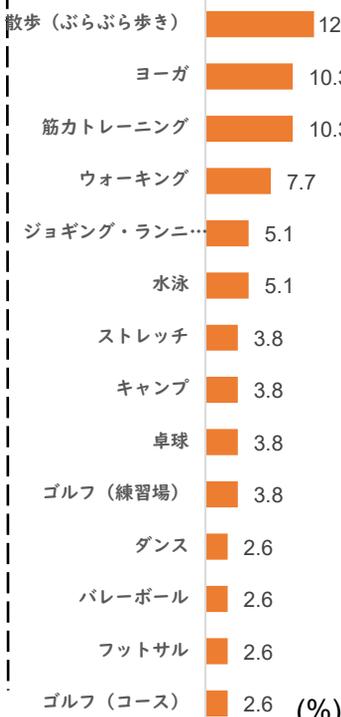
BASE=169

再開

これまでに実施したことのある種目を、この1年の間に再び始めた。



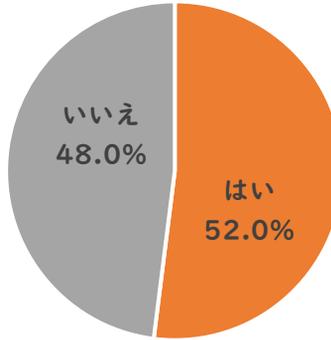
BASE=771



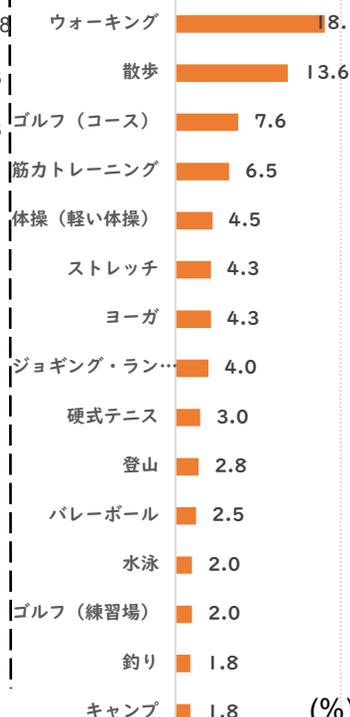
BASE=78

継続

これまでに実施してきた種目を、この1年の間に継続して行ってきた。



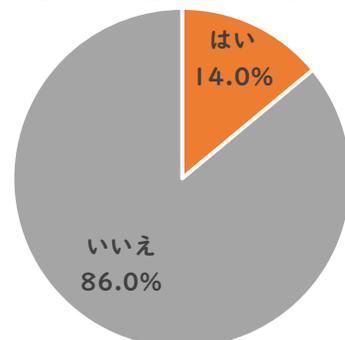
BASE=771



BASE=397

中止

これまで実施してきた種目を、この1年の間に中止し現在は実施していない。



BASE=771



BASE=110

名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

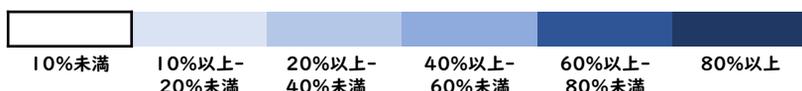
【6】区民の運動・スポーツ実施目的

区民が普段、運動・スポーツ活動に取り組む際にどのような目的を持って実施しているかについて集計した結果、図6に示すように、全体では「健康・体力づくりのため」が最も多く(75.1%)、区民の4人に3人は健康や体力の維持向上を目的にしていることが分かった。次いで「運動不足解消のため」(60.5%)、「楽しみ・気晴らしとして」(51.6%)、「身体機能を保持するため」(44.1%)、が上位4項目で40%を超えている。性別で比較してみると、「健康寿命延伸のため」と「自然と触れ合うため」は男性の方が、「美容のため」や「家事・通勤・通学のため」は女性の方が回答率が高く、複数の目的で性差が確認できた。

【図6】身体活動に取り組む目的

<質問文>あなたが普段、身体活動に取り組む目的は何ですか？ <回答肢>以下の表中の項目についての複数回答

身体活動に取り組む目的	全体 n=770	性別		年代								
		男性 n=333	女性 n=427	10代 n=8	20代 n=53	30代 n=93	40代 n=126	50代 n=145	60代 n=125	70代 n=135	80代 n=61	90代以上 n=15
健康・体力づくりのため	75.1%	77.8%	73.3%	87.5%	62.3%	77.4%	69.8%	82.8%	86.4%	73.3%	67.2%	33.3%
楽しみ・気晴らしとして	51.6%	54.4%	50.5%	50.0%	62.3%	56.5%	50.0%	53.1%	54.4%	49.6%	47.5%	20.0%
運動不足解消のため	60.5%	65.2%	57.6%	62.5%	49.1%	57.0%	63.5%	70.3%	64.0%	58.5%	55.7%	33.3%
身体機能を保持するため	44.1%	43.8%	44.0%	12.5%	24.5%	37.6%	45.2%	43.4%	52.0%	48.9%	47.5%	46.7%
病後のリハビリテーションのため	5.8%	5.7%	5.9%	0%	1.9%	4.3%	0.8%	5.5%	8.0%	6.7%	9.8%	33.3%
健康寿命の伸長のため	18.1%	24.3%	13.1%	12.5%	7.5%	7.5%	8.7%	15.9%	28.8%	22.2%	34.4%	26.7%
友人・仲間との交流のため	22.4%	23.5%	21.8%	37.5%	28.3%	18.3%	17.5%	18.6%	23.4%	25.2%	34.4%	20.0%
自然と触れ合うため	20.1%	23.7%	17.6%	12.5%	7.5%	17.2%	15.1%	18.6%	30.4%	27.4%	14.8%	20.0%
美容のため	10.4%	2.4%	17.9%	0%	20.8%	17.2%	17.5%	13.1%	6.4%	1.5%	1.6%	6.7%
肥満解消のため	27.4%	27.6%	27.4%	12.5%	17.0%	40.9%	38.1%	32.4%	31.2%	13.3%	14.8%	6.7%
家族・特に子どもとのふれあいとして	10.0%	8.4%	10.8%	0%	3.8%	25.8%	23.0%	6.2%	2.4%	1.5%	4.9%	13.3%
自己の記録や能力を向上させるため	6.5%	6.3%	6.6%	12.5%	7.5%	12.9%	9.5%	3.4%	7.2%	4.4%	0%	6.7%
精神修養や訓練のため	4.3%	5.1%	3.5%	0%	1.9%	9.7%	4.8%	3.4%	3.2%	3.0%	4.9%	6.7%
家事・通勤・通学のため	10.1%	6.9%	12.6%	25.0%	13.2%	7.5%	11.9%	14.5%	9.6%	6.7%	4.9%	0%



名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

【7】区民の運動・スポーツ実施のための条件

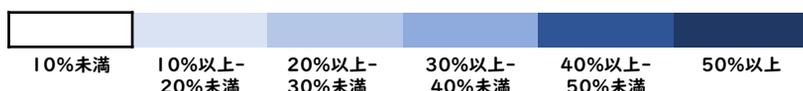
過去1年間に実施した運動・スポーツ活動に取り組むための前提条件としてどのようなものがあるかについて集計した結果、図7に示すように、全体では「安い費用で利用できる施設や用具があれば」が最も多く(41.9%)、次いで「体力や好みに合った運動やスポーツが見つければ」(32.3%)、「身近にスポーツ施設があれば」(31.9%)、「勤務時間が短くなれば」(23.5%)、「仲間など誰かが誘ってくれれば」(22.6%)が上位5項目で20%を超えている。性別と年代別では、特に「家事や子育て介護などが軽減できれば」において男性よりも女性の方が高い値をとっていることが確認できた。

【図7】身体活動に取り組むための条件

<質問文>あなたはどのような条件が整えば、今よりも身体活動に取り組めると思いますか？

<回答肢>以下の表中の項目についての複数回答

身体活動に取り組むための条件	全体 n=770	性別		年代								
		男性 n=230	女性 n=290	10代 n=8	20代 n=53	30代 n=93	40代 n=126	50代 n=145	60代 n=125	70代 n=135	80代 n=61	90代以上 n=15
勤務時間が短くなれば	23.5%	22.5%	24.4%	0%	41.5%	38.7%	32.5%	33.1%	20.0%	5.9%	0%	0%
身近にスポーツ施設があれば	31.9%	33.0%	31.6%	25.0%	34.0%	40.9%	40.5%	33.8%	29.6%	25.9%	19.7%	20.0%
安い費用で利用できる施設や用具があれば	41.9%	41.4%	43.1%	37.5%	41.5%	49.5%	54.0%	45.5%	48.0%	31.1%	24.6%	6.7%
仲間など誰かが誘ってくれれば	22.6%	24.0%	22.0%	62.5%	49.1%	26.9%	19.8%	22.8%	23.2%	15.6%	14.8%	6.7%
運動・スポーツを教えてくれる人がいれば	13.5%	13.5%	13.8%	25.0%	13.2%	11.8%	10.3%	10.3%	23.2%	12.6%	16.4%	0%
体力や好みに合った運動やスポーツが見つければ	32.3%	30.3%	34.7%	0%	28.3%	24.7%	26.2%	31.7%	52.8%	31.9%	29.5%	26.7%
地元まで出張指導してくれたら	1.8%	1.8%	1.9%	0%	1.9%	2.2%	2.4%	0.7%	0.8%	2.2%	4.9%	0%
家事や子育て介護などが軽減できれば	12.6%	6.0%	17.8%	0%	1.9%	43.0%	23.0%	11.0%	5.6%	0.7%	1.6%	0%
家庭など周囲の理解があれば	4.4%	5.1%	4.0%	0%	1.9%	12.9%	8.7%	4.8%	0.8%	0.7%	1.6%	0%
情報が簡単に取得できれば	7.0%	7.5%	6.8%	0%	3.8%	8.6%	7.9%	9.0%	8.0%	7.4%	0%	0%



名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

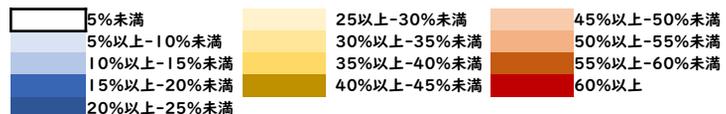
【8】区民の運動・スポーツ活動活性化率

名東区民の「する」スポーツ活動に関わる現状レベルに加え、「ささえる」「みる」など全般に関わる総合的なスポーツ参画の内容が、過去1年間にどの程度経験されたかを把握するための活性レベルを指標化し、図7に示す6指標18項目により回答を求めた。その結果、「スポーツの継続」を筆頭に（50.9%）、「テレビやメディアによるスポーツ試合・大会の視聴観戦」（47.1%）、「スポーツの開始」（19.8%）、「スポーツ活動の実施頻度の増加」（18.0%）、「スポーツに関わるグッズや製品・物販の購入」（17.7%）と名東区全体の15%を超える数値を示した。一方、「新たなスポーツチームの結成や過去のチームの再結成」（0.9%）や「スポーツに関わるボランティア参加の増加」（2.0%）等の所属や支援に関する指標値は一部を除いて比較的低い傾向を示した。

【図8】スポーツライフ活性化指標の経験内容（複数回答）

<質問文>過去1年間の間にあなたは以下の内容を経験しましたか？以下に挙げる項目の中から該当するものを全てお選びください。
【複数回答】

指標	項目	全体 n=762	性別		年代								
			男性 n=333	女性 n=427	10代 n=8	20代 n=53	30代 n=93	40代 n=126	50代 n=145	60代 n=125	70代 n=135	80代 n=61	90代以上 n=15
活動	頻度	18.0%	18.3%	17.8%	25.0%	24.5%	22.6%	17.5%	18.6%	20.8%	15.6%	8.2%	0%
	時間	13.3%	13.2%	13.3%	25.0%	20.8%	17.2%	16.7%	11.7%	12.0%	11.9%	4.9%	0%
	強度	6.3%	7.8%	5.2%	12.5%	9.4%	8.6%	7.9%	7.6%	4.0%	5.2%	1.6%	0%
経歴	開始	19.8%	22.0%	18.0%	0%	23.7%	24.1%	23.5%	22.7%	17.6%	15.6%	16.7%	0%
	再開	10.8%	10.3%	11.3%	0%	15.4%	12.1%	10.6%	10.1%	9.8%	8.7%	14.6%	0%
	継続	50.9%	58.9%	44.2%	50.0%	48.7%	33.9%	48.2%	58.0%	45.8%	62.0%	55.8%	33.3%
所属	結成	0.9%	0.6%	1.2%	0%	0%	2.2%	1.6%	0.7%	0%	0.7%	1.6%	0%
	加入	3.1%	2.4%	3.7%	0%	5.7%	4.3%	2.4%	2.1%	3.2%	3.7%	1.6%	6.7%
	強化	8.3%	7.5%	8.4%	12.5%	7.5%	6.5%	7.1%	9.7%	5.6%	10.4%	11.5%	6.7%
支援	指導	2.2%	3.0%	1.4%	12.5%	1.9%	1.1%	4.8%	2.1%	2.4%	1.5%	0%	0%
	援助	2.0%	2.7%	1.4%	0%	3.8%	0%	0.8%	4.1%	1.6%	3.0%	0%	0%
	発信	4.2%	5.1%	3.0%	25.0%	9.4%	6.5%	5.6%	4.1%	1.6%	0.7%	4.9%	0%
観戦	応援	12.2%	9.9%	13.6%	25.0%	18.9%	7.5%	25.4%	13.8%	8.8%	5.2%	4.9%	6.7%
	直接観戦	13.3%	17.7%	9.6%	12.5%	26.4%	19.4%	16.7%	20.0%	8.0%	5.2%	1.6%	0%
	間接観戦	47.1%	45.3%	48.5%	75.0%	45.3%	45.2%	46.8%	58.6%	46.4%	39.3%	42.6%	26.7%
消費	モノ購入	17.7%	19.8%	15.7%	12.5%	15.1%	21.5%	20.6%	24.1%	20.8%	11.1%	6.6%	0%
	コト購入	4.6%	5.1%	4.0%	0.0%	5.7%	5.4%	4.0%	7.6%	7.2%	1.5%	0%	0%
	付随購入	7.9%	8.1%	7.3%	25.0%	13.2%	7.5%	7.9%	10.3%	10.4%	3.7%	1.6%	0%



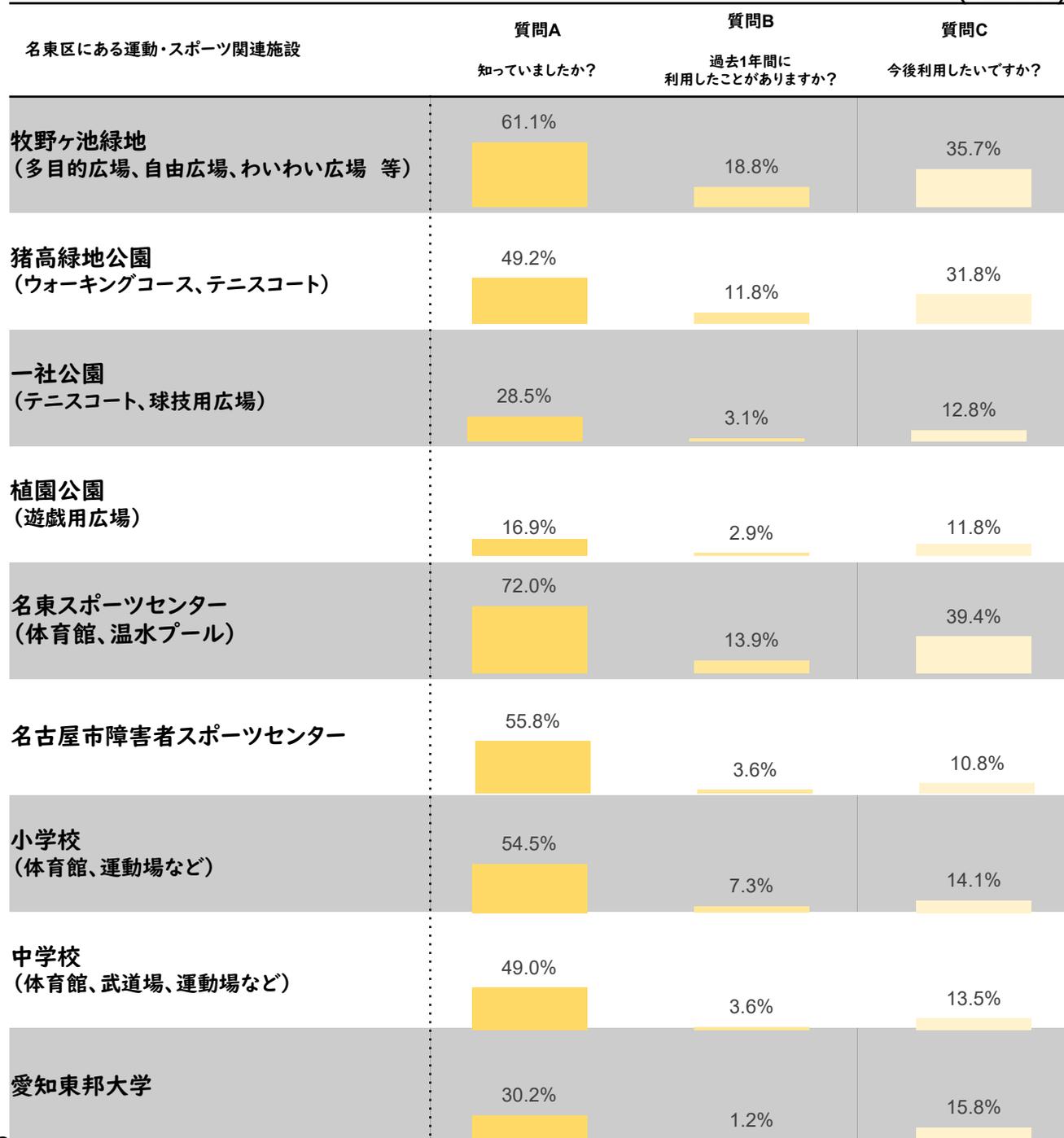
名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状と意欲

【9】 運動・スポーツ関連施設の認知・利用・利用希望の現状

名東区民が利用できる運動・スポーツ関連施設の計9箇所に対し、認知度、利用経験、利用希望をたずねたところ、すべての施設において、認知度が最も高く、順に利用希望、利用経験の値となり、これらのギャップを埋めていくサービス提供側の努力の必要性を示す結果となった。また、50%の認知度を超えるもの（名東スポーツセンター、牧野ヶ池緑地、名古屋市障害者スポーツセンターなど）が多く存在するものの、その利用経験は低く、施設のPRと魅力的な設備環境を整えていく必要性を示唆するものであった。

【図9-1】名東区内の運動・スポーツ関連施設の認知と利用と利用希望

(N=771)



名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状と意欲

【9】 運動・スポーツ関連イベント・プログラムの認知・参加・参加希望の現状

14種類のイベントやプログラムに対し、認知度、参加経験、参加希望をたずねたところ、前頁の施設同様、認知度が最も高く、順に参加希望、参加経験の値となった。地域運動会の認知度は3割を超えているが、それ以外は低い傾向であることからイベントやプログラムの認知度を上げていくことによって、参加希望率が押し上げられ、その結果、実際の参加率の向上につながっていくことが期待される。

【図9-2】名東区内の運動・スポーツ関連イベント／プログラムの認知と利用と利用希望

(N=771)

名東区内のイベント／プログラム	質問A	質問B	質問C
	知っていましたか？	過去1年間に参加したことがありますか？	今後参加したいですか？
千種区・名東区家族ジョギング・ウォーキング大会	25.8%	1.6%	17.3%
名東区民卓球大会	8.7%	0.4%	5.3%
名東区民ソフトテニス大会	6.6%	0.1%	2.2%
名東区民バドミントン大会	6.1%	0.1%	5.3%
名東区民ボウリング大会	7.9%	0.1%	7.7%
名東区モルック大会	4.5%	0.8%	3.9%
名東区民レクリエーションインディアカ大会	8.6%	0.6%	1.6%
障害者スポーツスクール	4.3%	0.3%	1.0%
いきいき教室(拠点型・出張型)	7.4%	0.8%	4.8%
高齢者はつつつ長寿推進事業	5.8%	0.5%	5.4%
東邦学園地域スポーツクラブ (体操教室、わくわくスポーツ教室 等)	4.2%	0.4%	9.1%
地域運動会	34.0%	4.7%	12.7%
親子で楽しいスポーツ体験教室	6.9%	0.3%	6.4%
初めてのスポーツ体験イベント	4.6%	3.0%	18.6%

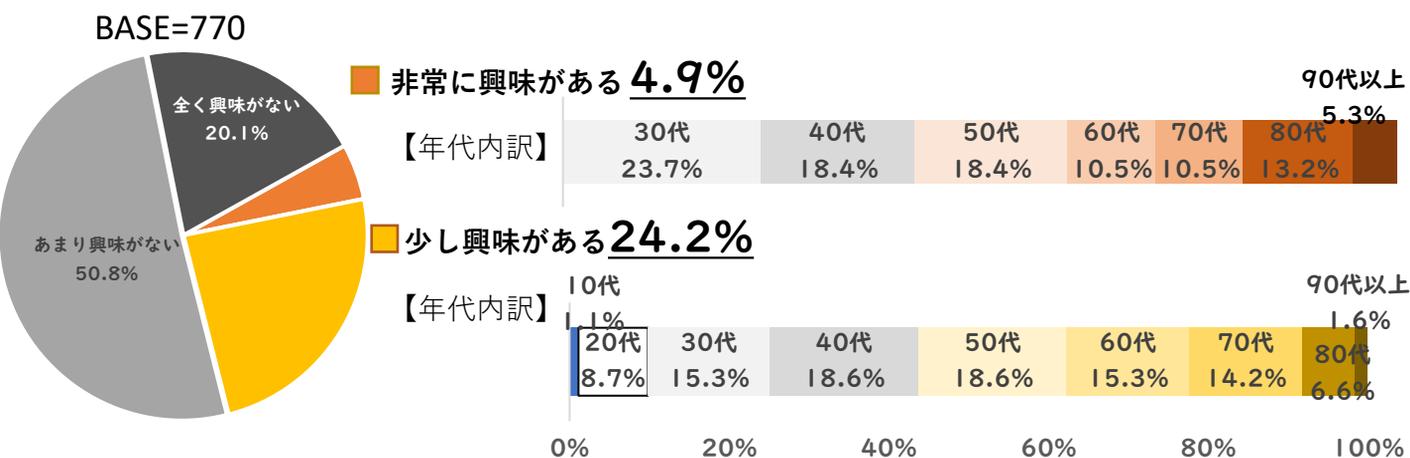
名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

【10】 区民の運動・スポーツを通じた地域活性化活動への興味

区民が地域と関わりながらスポーツを通じて地域活性化を推進していく活動参加への興味について質問したところ、70.9%が「興味がない(全く+あまり)」と回答し、「非常に興味がある」が4.9%、「少し興味がある」が24.2%と「興味がある」層は合わせて29.1%となった。具体的にどのような活動に参加してみたいかという活動内容では、子どもに関わる活動、高齢者に関わる活動、生涯スポーツに関わる活動など多岐の回答が確認できた。

【図10】スポーツを活用した地域活性化活動への参加意向

<質問文>あなたは区民が地域と関わりながらスポーツを通じて地域活性化を推進していく活動への参加に興味はありますか？



	内容
60代男性：高針学区	初心者でも楽しめる活動
30代女性：貴船学区	子どもと一緒に参加できるもの
70代男性：引山学区	ジョギング、ウォーキング等のイベント
20代男性：猪高学区	ツインバスケットボール、ボッチャなどパラスポーツを含む様々な競技の参加体験型イベント
50代女性：猪子石学区	今年のように学生さんが盛り上げてくれれば
40代男性：引山学区	小学校から大学の授業の一環として、そうした活動のイベント活動を提案し年に一度でも実行してみる。学校の垣根を越えてみる

【表10-1】参加してみたい活動の内容(“非常に興味がある、少し興味がある”のみ回答)

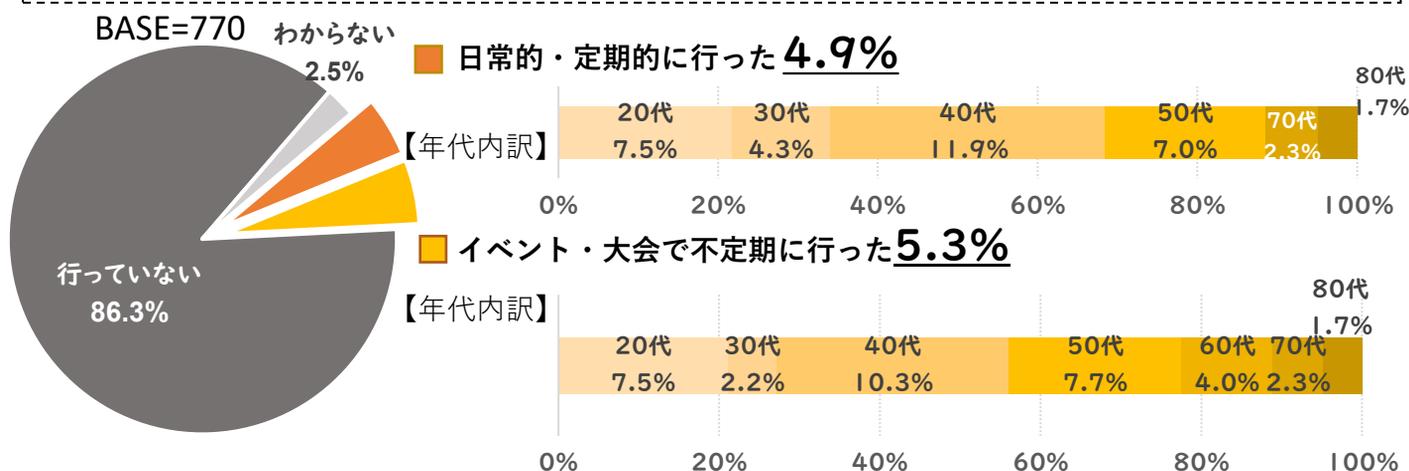
名東区民のスポーツ・健康参画の現状

【11】 区民のスポーツボランティア実施状況

過去1年間の運動・スポーツ活動の有無を質問したところ、86.3%が「行っていない」と回答し、「イベント・大会で不定期的に行った」が5.3%、「日常的・定期的に行った」が4.9%となった。このスポーツボランティアの具体的な活動内容では、「自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」と「自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」が最も多く(39.0%)、「スポーツクラブ・団体の運営や世話」(23.4%)が次いで高い値となった。

【図11-1】 運動・スポーツに関するボランティア活動の動向

<質問文>この1年間に、スポーツの指導や大会の運営、自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝い(練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備等)など運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか(○は1つだけ)



【図11-2】 具体的なボランティア活動の内容

	全体 BASE=68	男性 BASE=35	女性 BASE=32
運動・スポーツの指導	19.5	28.2	8.1
スポーツの審判	9.1	12.8	5.4
スポーツクラブ・団体の運営や世話	23.4	12.8	35.1
スポーツ施設の管理の手伝い	14.3	7.8	5.2
大会・イベント運営や世話	39	41	35.1
自身やお子様が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動	39	23.1	56.8
その他	3.9	2.6	5.4
わからない	4.4	5.7	3.1

名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

【12】 区民が求める運動・スポーツ活動の推進事項

名東区民が運動・スポーツ活動の推進について重要だと思うことについて集計した結果、図12に示すように、全体では「子どもが学校外で運動やスポーツに取り組める環境の整備」が最も多く（40.0%）、次いで「介護予防や健康づくりに資する運動やスポーツの推進」（31.9%）、「高齢者を対象とした生きがいづくりや仲間づくりを重視した運動やスポーツの推進」（28.2%）、「誰もが参加できるスポーツ大会やスポーツ教室の開催」（27.7%）が上位4項目で25%を超えた。このことから、名東区民が考える運動・スポーツ活動推進事業の対象は“子ども”>“高齢者”>“全世代対象型”の順で重要であることが確認できた。

【図12】 運動・スポーツ活動推進のための重要事項

<質問文> 運動・スポーツ活動の推進について、あなたが重要と思うことは何ですか
 <回答肢> 以下の表中の項目についての複数回答

活動推進のための重要事項	全体 n=762	性別		年代								
		男性 n=333	女性 n=427	10代 n=8	20代 n=53	30代 n=93	40代 n=126	50代 n=145	60代 n=125	70代 n=135	80代 n=61	90代以上 n=15
介護予防や健康づくりに資する運動やスポーツの推進	31.9%	32.1%	31.6%	12.5%	26.4%	17.2%	21.4%	37.2%	36.8%	35.6%	47.5%	53.3%
高齢者を対象とした生きがいづくりや仲間づくりを重視した運動やスポーツの推進	28.2%	28.8%	27.6%	0%	13.2%	12.9%	20.6%	24.1%	41.6%	37.0%	39.3%	60.0%
各種スポーツ種目の普及やイベントに関する情報の提供	16.7%	20.4%	13.8%	25.0%	17.0%	14.0%	16.7%	17.9%	15.2%	20.7%	11.5%	13.3%
子どもが学校外で運動やスポーツに取り組める環境の整備	40.0%	37.8%	41.7%	37.5%	43.4%	58.1%	48.4%	38.6%	34.4%	30.4%	31.1%	33.3%
教科(授業)としての学校体育の充実	13.6%	12.3%	14.8%	37.5%	15.1%	18.3%	18.3%	12.4%	8.8%	11.1%	14.8%	0%
学校の部(クラブ)活動の支援	19.8%	17.4%	21.8%	0%	30.2%	26.9%	26.2%	25.5%	17.6%	8.9%	8.2%	6.7%
地域のスポーツクラブへの支援	8.8%	10.2%	7.7%	0%	9.4%	6.5%	14.3%	9.7%	6.4%	8.1%	8.2%	0%
民間(営利・非営利)のスポーツクラブ等への支援	9.6%	11.7%	8.0%	12.5%	15.1%	15.1%	17.5%	8.3%	8.0%	1.5%	3.3%	13.3%
競技スポーツの推進	3.8%	4.5%	3.0%	12.5%	5.7%	7.5%	4.0%	5.5%	1.6%	1.5%	1.6%	0%
障害のある人のスポーツの推進	7.9%	9.3%	6.8%	0%	9.4%	7.5%	3.2%	5.5%	8.8%	11.1%	9.8%	20.0%
誰もが参加できるスポーツ大会やスポーツ教室の開催	27.7%	24.3%	30.2%	37.5%	22.6%	29.0%	34.1%	32.4%	31.2%	21.5%	14.8%	13.3%
スポーツ施設の充実	24.1%	22.2%	25.3%	25.0%	35.8%	28.0%	28.6%	26.9%	27.2%	14.8%	8.2%	13.3%
学校施設開放の推進	13.6%	14.1%	13.3%	0%	13.2%	21.5%	16.7%	9.7%	13.6%	14.1%	4.9%	13.3%
マラソンやウォーキングフェスタなど、集客が期待できるスポーツイベントの推進	12.7%	11.1%	13.8%	12.5%	5.7%	20.4%	9.5%	14.5%	16.8%	8.1%	9.8%	20.0%



名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

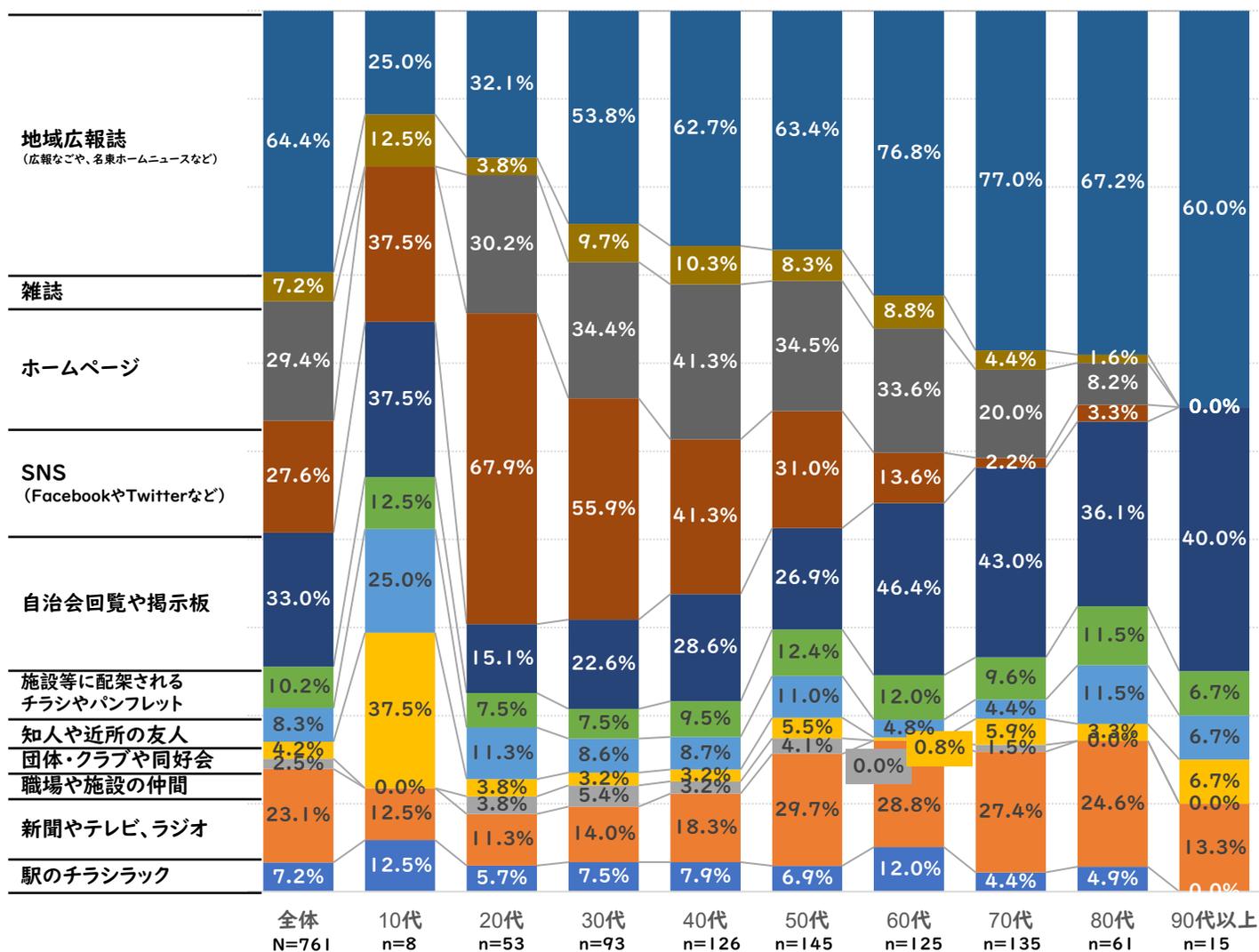
【13】 区民が希望する運動・スポーツ関連情報のツール

運動やスポーツに関する情報をどのような方法で提供して欲しいかについて集計した結果、図13に示すように、全体では「地域広報誌」が最も多く(64.4%)、次いで「自治会回覧や掲示板」(33.0%)、「ホームページ」(29.4%)、「SNS」(27.6%)が上位4項目で25%を超えた。

年代別の傾向を見ると、「地域広報誌」「自治会回覧や掲示板」については年代が上がるにつれて回答率が高くなる傾向にあり、「SNS」は20代-40代、「ホームページ」は30代-60代の回答率が高く、この結果よりも効果的な情報発信をするにはターゲットに合わせたツールの選択が求められる。

【図13】 運動・スポーツに関する情報を希望するツール

<質問文>あなたは、運動やスポーツに関する情報をどのような方法で提供してほしいですか。



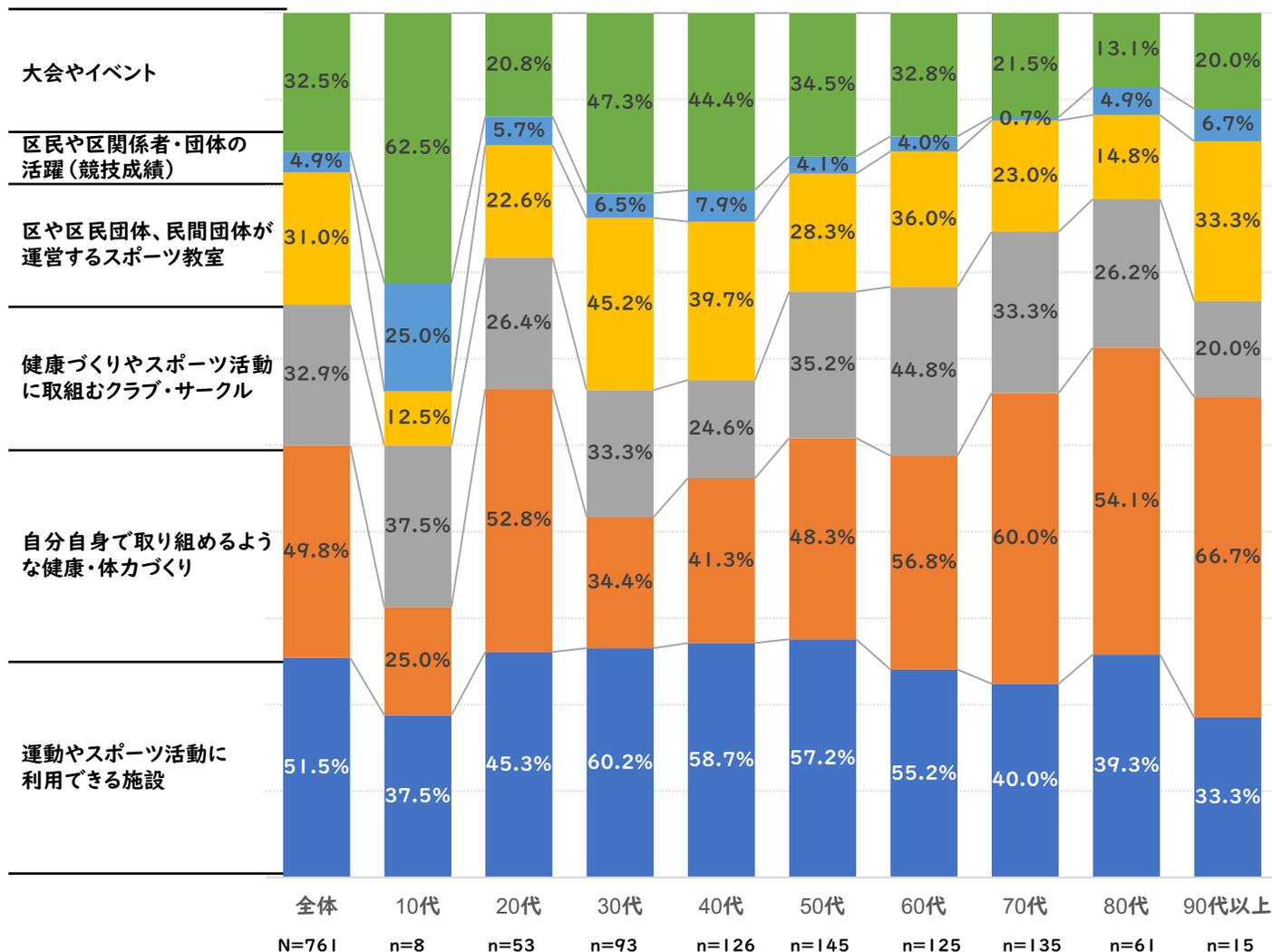
名東区民のスポーツ・健康活動参画の現状

【14】 区民が求める運動・スポーツ関連情報

運動やスポーツに関するどのような情報を希望しているのかについて集計した結果、図14に示すように、「運動やスポーツ活動にできる施設」が最も多く(51.5%)、次いで「自分自身で取り組めるような健康・体カづくりについての情報」(49.8%)が約50%の回答を得ることができた。この結果は、前述した名東区における運動・スポーツ関連施設の認知度の低さとも関連しており、今後の名東区民の運動・スポーツ活動の機会を増やすためにも民間施設も含めた施設やプログラムの情報を発信していく必要性が確認できた。

【図14】運動・スポーツに関する情報として希望する内容

<質問文>あなたは、運動やスポーツに関する情報としてどのような内容を知りたいですか。



「2023年度 名東区民のスポーツ・健康に関する意識調査」調査研究メンバー
(敬称略／研究主査○)

研究者

- 松村 雄樹 愛知東邦大学 人間健康学部 人間健康学科 講師
中野 匡隆 愛知東邦大学 人間健康学部 人間健康学科 准教授

ワーキンググループ

- 久野 正人 学校法人 東邦学園 スポーツ・文化振興局
柴田 千登勢 学校法人 東邦学園 スポーツ・文化振興局
貫名 正樹 学校法人 東邦学園 スポーツ・文化振興局
長島 賢 学校法人 東邦学園 スポーツ・文化振興局
林 空生 愛知東邦大学 人間健康学部 人間健康学科 学生
松岡 桜太朗 愛知東邦大学 人間健康学部 人間健康学科 学生

愛知東邦大学 地域創造研究所 2023年度指定課題 特別研究助成事業
「名古屋市名東区におけるスポーツ・健康×まちづくりの実践に向けた縦断的研究」

2023年度 名東区民のスポーツ・健康に関する意識調査

2024年4月

愛知東邦大学 地域創造研究所
〒465-8515 名古屋市名東区平和が丘3丁目11番地
E-mail: kenkyujo@aichi-toho.ac.jp